

平成26年 第2回 議会定例会

一 般 質 問

1. 1番 岩崎 成子
2. 3番 松尾 榮子
3. 6番 軍司 俊紀
4. 7番 山本 清
5. 10番 多田 育民
6. 2番 野田 泰博

議席1番 岩崎 成子 議員

【質問1】 印西クリーンセンター次期中間処理施設について

(1) 平成26年9月末日に次期中間処理施設整備事業用地検討委員会から施設建設候補地の審査結果の最終答申がありました。今後、組合管理者、副管理者会議を得て、建設候補地を決定します。当初の計画より2か月程遅れているが、改めて印西クリーンセンター次期中間処理施設建設の今後のスケジュールを伺います。

(2) 次期中間処理施設が建設され稼働するまで現施設の延命化を図っていかなければなりません。国の外郭団体である一般財団法人「日本環境衛生センター」にクリーンセンターの機器等詳細調査を依頼し、平成26年2月に印西クリーンセンター機器等詳細調査業務ごみ焼却施設長寿命化計画書として最終報告をいただきました。この計画書を踏まえ、組合として機器等の延命化をどのように図っていくのか見解を伺います。

【質問2】 「印西地区ごみ処理基本計画」について

(1) 平成26年3月策定された「印西地区ごみ処理基本計画」を目標とし、組合ではごみの減量化並びに資源化について様々な施策展開を実施しています。そこで伺います。

- ①ごみの減量化は、計画通り進んでいるのか。
- ②ごみの資源化は、計画通り進んでいるのか。

【質問3】 余熱利用施設事業（温水センター）について

(1) 平成20年4月から、指定管理者による管理運営が行われ、6年が経過しました。民間の知恵を出し合った様々な取り組みが実施されていることと思います。指定管理者への移行の検証と今後の課題について伺います。

(2) 平成5年に開設された温水センターは、印西クリーンセンターのごみ焼却処理時に発生する余熱を利用した地元還元施設であると認識しています。現在、修繕や補修工事等を実施しながら、健康維持、増進を目的に活用しています。印西クリーンセンター施設の建設等を踏まえ、今後の温水センター施設のあり方、方向性、そしてこの事業の中・長期計画について伺います。

【質問4】 平岡自然公園整備事業について

- (1) 平成19年に開設された印西斎場、経過した7年間の検証と課題について伺います。
- (2) 平成20年に開設された地元還元施設である平岡自然の家、6年間の検証と課題について伺います。

- (3) 平成21年6月から供用された印西霊園、墓所総計画数4900基となっている。現在、第2期工事まで進んでいるが、当初の計画通りに進捗しているか伺います。

議席3番 松尾 榮子 議員

【質問1】 次期中間処理施設用地検討委員会の答申と今後について。

用地検討委員会の最終会議が9月28日開かれ、3次まで3段階の審査が終了した。検討委員会は9項目の諮問事項に応え、比較対象地の評価項目を定め、候補地の公募を行い、3次まで3段階の審査を行い、公募の土地4カ所と現在地の5カ所の候補地に順位付けを行い、9月30日、管理者に答申を行ったとのことである。そこで伺う。

- (1) 候補地の比較評価最終結果について
- (2) 答申内容の評価について
- (3) 用地最終決定までのスケジュールについて
- (4) 用地決定後、建設までの概略スケジュールについて

【質問2】 現中間処理施設の延命化について。

印西クリーンセンター次期施設整備計画のやり直しに伴い、現施設の老朽化への対策が必要となり、中間処理施設、粗大ごみ処理施設の延命化計画が開始された。去る7月6日には住民説明会も行われたが、参加者は少なかったようである。同延命化計画について伺う。

- (1) 延命化（長寿命化）計画の現況について
- (2) 国交付金等の申請について
- (3) 構成市町の費用負担について

議席6番 軍司 俊紀 議員

【質問1】 印西クリーンセンターの移転について

9月30日（火）に「次期中間処理施設整備事業用地検討委員会」から、管理者に対して、「（諮問に対する）最終答申」が示されました。

答申書では、順位付けされた候補地とその候補地に関するコメントが説明され、今後、管理者・副管理者による会議を経た後に移転候補地を決定するという流れになります。

（1）現在施設の延命化について

- ① 現在、どのような動きになっていますか。
- ② 最終答申を受けて、スケジュールに変更はあるか。

（2）吉田地区について

同地は建設候補地として、1位の評価であり、移転候補地として最有力だと考えますが、懸案事項もあり、以下について確認します。

- ① 隣接する幹線道路がないことから、アクセス道路の整備が必須だと考えます。道路がなければ工事が進まないと思いますが、道路整備に関するスケジュールについて確認をします。
- ② 同地は防災調整池からの雨水排水の関係で地区外水路整備が必要となりますが、近隣への説明は行われているのでしょうか。

（3）温水センターについて

平成24年度に「温水センター」の長期管理計画が策定され、今後30年間の更新及び補修工事の概算費用が算出されました。今回、管理者・副管理者に対して、「最終答申」されたのを受けて、今後温水センターをどのように管理し、運営されていくのか。

- ① 計画策定にあたり、調査結果報告が示されているが、平成24年度から今年度に至るまで、調査結果をどのように受け止め、どのような修繕方針を出しているのか。
- ② 具体的にどの部分を修繕してきたのか。
- ③ 2018年には熱源の再検討を含む大規模改修工事が必要な旨の記載がある。今回の答申を受けて、今後どのような検討を行うのか。

（4）白井清掃センター跡地の活用について

現在、「処理困難物ストックヤード」として同地を使用しているが、「最終答申」を

受けて、跡地活用方針に変更はないか。

【質問2】 印西クリーンセンター周辺における臭気に関するモニタリングについて
先月から行われているモニタリングですが、以下についてお聞きする。

(1) モニタリングにあたっては場所が重要だと考えますが、現在モニタリングが行われているのは必要十分な測定が行われる場所か。

(2) 悪臭防止のためには、臭気測定が必須だと考えますが、組合では現在及び今回の事案を受けてどのように臭気測定を行っていくつもりか。

【質問3】 放射性物質を含む焼却灰の管理と今後について

現在、印西地区環境整備事業組合では「放射性セシウム」の放射線量が8000Bq/kgを超える「焼却灰」を145トン保管しています。

(1) 現在、保管場所の管理はしっかり行われているか。

(2) 今後の処理方針について、どのように国や県と情報交換がされているのか。

議席7番 山本 清 議員

【質問1】 用地検討委員会について

- (1) 「現在地」が候補地の1つになったのは、なぜか。
- (2) 「現在地」について、管理者は立候補したのか。
- (3) 「現在地」について、点数評価することは、用地検討委員会の権限内か。
- (4) 現在地の三次選考において、煙突建設費用、現在地を占有し続けることによる機会費用はどのように算定されているか。
- (5) 煙突費用の算定、現在地の土地機会費用算定について、用地検討委員の意見は一致したか。
- (6) 今後、「現在地」は候補地として残るのか。

【質問2】 次期中間処理施設建設について

- (1) 吉田地区とどのような接触が今まであったか。
- (2) 吉田地区からは、どのような要望があるか。
- (3) 吉田地区への道路建設は、どのような見通しか。
- (4) どのようなスケジュールを考えているか。
- (5) 最短で、次期中間処理施設の建設はいつごろになりそうか。

【質問3】 現中間処理施設の延命化について

- (1) 計画は今、どうなっているのか。
- (2) 費用はどうか。
- (3) コンサルとは、どのようなやり取りをしているか。

【質問4】 現在地の土地利用について

- (1) 今後、現在地の土地はどのように利用される可能性があるか。
- (2) 温水センタープールはどうなるのか。

議席 10 番 多田 育民 議員

【質問 1】 次期中間処理施設について

1. 用地検討委員会の最終答申について
2. 組管理者としての今後の建設方針について伺います。

【質問 2】 現施設の長寿命化計画（施設保全計画と延命化計画）について

1. 千葉ニュータウン新聞等に発表されている住民団体の考え方について
2. 循環型社会形成推進交付金申請事務について
3. 今後の進め方について

議席 2 番 野田 泰博 議員

【質問 1】 次期ごみ焼却施設の場所と処理能力および建設費用の概算について管理者の考え方とその根拠は何か。

【質問 2】 次期ゴミ焼却施設周辺整備費についての概算経費について管理者の考え方はどのようなものか。

【質問 3】 次期ごみ焼却施設で処理する 3 市町のごみ量の基準について管理者の考え方、また施設建設に必要な全体経費の財源と 3 市町の負担をどのように考えているか。

【質問 4】 現在の印西地区環境整備事業組合の資産の処分の仕方について管理者はどのようにお考えになっているか。